

### 第3回三次市学校給食食材安定調達連絡協議会 議事録（概要版）

日 時 令和3年12月10日（金） 14：30～16：15

場 所 三次市役所本館3階会議室

出席者 委員10名 事務局6名

#### 1 開会・新委員の紹介・挨拶

新委員2名に委嘱状を交付，それぞれが自己紹介を行った。

村田会長が挨拶を行った。

#### 2 議事

事務局が，次の内容に関する報告，説明を行った。

①三次市学校給食食材安定調達連絡協議会設置要綱の改正について

②学校給食食材安定調達体制（案）について

・体制図にJA三次を含めた（案）について説明

#### 3 委員からの意見（抜粋）

○代金について，現在，調理場から出荷グループへ支払われているが，生産者を番号で管理し，調理場から直接，各生産者へ払うようにして欲しい。

○今は，各調理場の栄養士が食材の発注，支払いを行っている。新調理場では，食数や出荷者が増えると，割り振りや発注においてより多くの調整が必要となるため，連絡協議会へのコーディネーターの設置は必要である。また，調理場に発注管理や在庫管理を専属で行うコーディネーターを別に配置してもらえたら，調理場は大変助かると思う。

○1ヶ月分のまとめた発注ではなく，2回に分けて発注するなど，出荷しやすい工夫をして欲しい。

○学校給食における地産地消の取組について，目標をどのように設定しているのか。

⇒三次市の健康づくり推進計画では、30%を目標値としている。

○天候不順で生産量が少なくなる場合もあるので、計画的な生産は当然必要となってくる。どの野菜がどれくらい出来るのか分かれば、それに対応した献立のメニューを作ることが出来る。コーディネーターは、調理場と生産者の調整をしっかりと行っていかなくてはならない。

○野菜がどの時期にどれくらい必要かが分かれば、出荷について知り合いに声掛けをすることができる。

- ・JAは、JA産直会員がどの時期にどれくらいの野菜を出しているのかという情報を持っているので、このデータを栄養士に提供してもらおうと、三次産の旬な野菜を使った献立を作りやすくなるのではないかと。

⇒すでにデータがあるので提供させていただきたいと思う。JA三次管内の農家の方々が作ったものが、学校給食を通じて子どもたちに届くような取組を行っていきたい。

○具体的な出荷方法について、検討していく必要がある。

○気候や生育状態、病気など突発的なことで、納入が出来なくなるということも考えられる。その場合の対応についても、併せて検討する必要がある。契約栽培のような出荷でないと、安定供給は難しいのではないかと。

○現状をみると、玉ねぎやサツマイモの地産地消率は3割を超えている。このような野菜について、JAを通じて作付けの推進をしようか。

○安定調達体制を構築していく中で、調理場サイドの意見をどのように反映させていくのかは重要なポイントである。調理員も委員として本協議会に参加してもらい、意見を聞きたい。

※会長から事例紹介

#### 4 まとめ

○安定調達体制を協議していく中で、調理場サイドの意見を反映さ

せるため、調理員を委員として選出するよう依頼する。

○次回の会議は、協議内容に、法人等または個人が営む事業に関わる金銭の出納や経営に関わる情報、事業を営む上で必要とされるノウハウなどの情報が含まれる可能性があるため非公開とする。

## 5 閉会